

軽トラのキャンピングカー 神戸市の事業者が低価格を実現

軽トラの荷台に取り付けるだけでキャンピングカーに早変わりする居住スペース「トラベルハウス」が3月に発売された。

住宅機器卸売業JUSSETZマーケティング株式会社(神戸市)の社長武智剛さんが、取引のあった建築業者が自家用として試作していたものに目を付けたのがきっかけで、販売にいたった。

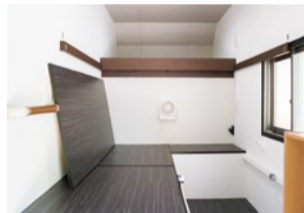
シェルと呼ばれる荷台の居住スペースは、セミダブルのベッドマットが入るスペースや作業台がある。完全受注生産で、カラーや内装、オプションなどのオーダーに応じてくれる。

通常、キャンピングカーは車両を含め300~1,000万円が相場だが、耐久性と



軽量化を両立させつつ、資材を一括購入し、直接販売することで98万円(「シェル」のみの標準価格、税別)と低価格を実現。全国から問い合わせが殺到し、発売から4カ月で60台以上を売り上げた。

キャンピングカーとして使用する他に、災害時の防災シェルターとしても利用できる。会社の移動オフィスとして、あるいは野菜の移動販売車にと購入した人も。武智さんは「用途もお客様によってさまざま。今までひとつとして同じものはありません」と今後の更なる可能性に期待している。



小型のバッテリーを使えば、テレビや電子レンジなども使用可能。

神戸市 2020年東京オリ・パラのホストタウンに 4カ国が登録

オーストラリア代表チームは、2020年東京パラリンピック開幕直前の事前合宿について神戸市と独占交渉を行うこととなった。8月上旬~下旬に車椅子バスケットボールやバドミントンなど最大13競技が、同市で本番前の調整を行うことになる。

2020年東京オリ・パラの開催にあたり、神戸市は7月末現在、英国やオーストラリア、クロアチア、カナダのホストタウンに登録されている。

ホストタウンとは、同大会に向けてスポーツ立国やグローバル化の推進、地域の活性化、観光振興などの観点から、参加国と地域との相互交流を図る地方公共



4月には、オーストラリアのプリズベン青少年サッカーチームが須磨翔風高等学校を訪問し、生徒たちとサッカーや茶道体験などによる交流を行った。



団体のこと。内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部が推進している。参加国のホスト役を担うことで、市民と交流事業を行ったり、既存のスポーツ施設の改修に国から財政補助を受けられるというメリットがある。今後も神戸市は、ホストタウンの事前合宿誘致を行っていく方針だ。



6月に行われた、クロアチアフットサルU-25代表チームとクラーク記念国際高等学校の生徒たちとのサッカー交流。

スポーツ自転車専用駐輪場 「チャリプール」オープン

JR三宮駅の高架下に、兵庫県初のスポーツ自転車専用駐輪場「チャリプール」がオープンした。一般的な自転車とは作りが違うロードバイクやクロスバイクは高価なものが多いため、盗難の心配が尽きない。チャリプールは、完全屋内でセキュリティも完備し、会員は携帯やスマホでカギの開閉を行い、24時間出入り可能。防犯カメラも設置され、スマホなどから自分の自転車を遠隔監視することもできる。

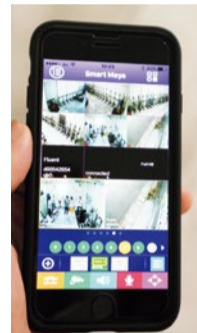
ハーバーランド近くにあるボルドーリングジム「ロックガーデン神戸」の代表 沼田



車輪を傷めないように自転車を縦置きに並べるクランクストップスタンドを使用。

健次さんと川端一馬さんは、自身らもスポーツ自転車を愛用する。「東京や大阪にあるスポーツ自転車専用駐輪場を神戸にも作りたかった」と話す。

利用者の中には、西は舞子、東は武庫川辺りから三宮まで自転車通勤する人や、朝に大混雑するポートライナーを避け、チャリプールからポートアイランドの職場や学校まで自転車移動する人もいう。40台ある駐輪スタンドのうち、現在は約30台が契約済。月額6,000円のところ8月中に契約すると4,200円(税別)。時間貸しはしていない。



駐輪後、自分の自転車が気になった場合は、スマホ画面からいつでも確認できる。場内には、ロッカーや更衣室があり、自主整備ができる工具や空気入れも揃う。

西宮アサヒビール工場跡地に 国内最大の高齢者向け住宅

住友林業グループの神鋼ケアライフ株式会社が、西宮市のアサヒビール工場跡地に国内最大のサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)「エレガノ西宮」を開発すると発表した。

住友林業株式会社は4月に神鋼ケアライフの筆頭株主となり、今回両社が取り組む初めての事業。総戸数309戸と国内最大のサ高住で、自立している高齢者も要支援・要介護の高齢者も受け入れる。

同施設の特徴は、要介護にならないための予防や健康寿命延伸に向けた取り組みを実施する点だ。希望する全入居者にMRI検診を行い、診断結果により、認知

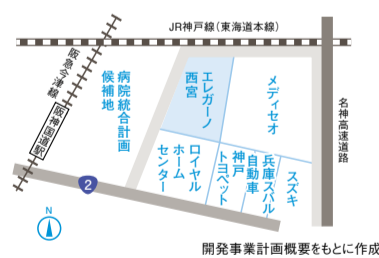


「エレガノ西宮」外観イメージ

症専門医が予防のためのアドバイスなどを行う。これは、国内の高齢者住宅では初めての試み。その他、認知症進行防止のために、ウォーキングや卓球などのスポーツ系や、囲碁、陶芸、書道など文化系のプログラムを実施し、脳の活性化と入居者同士のコミュニケーションを促進する。

また、要介護の入居者が自立者と同様、自主的に生活できるように、介護職員と入居者の動線を徹底的に研究。入居者の自由と安全性の両面を確保できるフロア設計を実現させる。施設は2020年5月オープン予定。問い合わせは、神鋼ケアライフ株式会社078-386-0801

【アサヒビール工場跡地利用計画】



開発事業計画概要をもとに作成

防災意識を高めよう ~風水害からの災害に備えて~

これからの時季は、台風や局地的な大雨の影響により、河川の急な増水・氾濫・土砂崩れなどが発生しやすくなる。
協力:兵庫県警察

【災害に備えて】天候は急激に変化することもあるため、警報や注意報などの気象情報をこまめに確認し、危険を感じればすぐに避難できるよう準備しておくことが大切である。

情報を入手する

テレビやラジオ、市町の防災情報などから、正確な情報を入手できるようにしておく。

あらかじめ確認する(避難場所)(避難経路)

避難経路をとっさに判断することは難しいため、安全な避難経路を確認しておく。

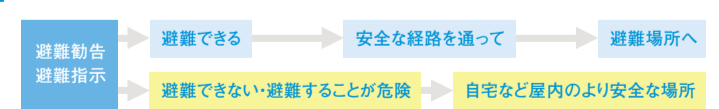
非常持ち出し袋を準備する

食料品・水・医薬品などを入れた、非常持ち出し袋を準備し、置き場所を確認しておく。

家族との連絡方法を確認する

家族や知人との間で、安否確認の方法を決めておく。

避難の流れ



ひょうご防災ネット

登録すると、兵庫県や市町が出す緊急情報や、地震・津波・気象警報等の情報をメールで受け取ることができる。

URL : <http://bosai.net>

